地区名 金津地区

年

度

の

組

課

題

価

★ ・地域福祉懇談会(5/28、2/1) ・地区社協の取り組みについて打ち合わせ(7/21、9/1)

- ・地区社協勉強会(5/25 社協・包括について、8/4 見守りについて)
- ・地区社協「地域の茶の間いっぷく」送迎支援検討(9/1)、実施
- 取 ・防災訓練(6/25) ・小中合同防災訓練(9/29)
 - ・金津小学校 4 年生総合学習 (10/24 高齢者と交流、11/1 子どもの見守りについて)
 - ・様々な見守り活動継続・ゴミ出し支援事業の情報交換(2月実施予定)

・見守り訪問やゴミ出し支援などを受けることに遠慮や隣近所の目を気にすることで利用につな がらない人もいる。関わり方の工夫等が必要である。

- ・日頃見守り活動を行っているが、緊急時の対応についてはどうしたらよいか心配ごとがある。
- ・数年前より地域の福祉活動は進んでいるが、力のある自治会やリーダーがいるところが多い。
- ・子どもたちの状況があまりつかめない。また、学童以外に放課後の子どもたちの居場所がない。
- ・皆で積極的に関わることで、アイデアも沢山あがり、楽しみながら取り組むことができた。
- ・茶の間 (コミセン) まで行く手段がない方に試験的に地区別にタクシーでの送迎支援を行った ところ、今まで来れなかった人が参加できるようになり、大変喜ばれている。
- ・見守り訪問で高齢者の力強さを感じエネルギーをもらっている。見守り活動はお互いさまの活動である。

評|・町内の行事を通して、人と人のつながりができており、それが一番大事である。

・自治会内の懇談会の機会に認知症の講習について情報提供したところ、町内での実施に向けて 進めることができた。

- ・自治会の防災体制を整え、避難場所の検討や安否確認、炊き出しの訓練等行った。また、福祉 活動は、すべて防災につながっており、有事の際に生かすことができた。
- ・地域内の危険個所等、自治会や関係団体と情報共有することで解決につながった。
- ・路線バスの経路等、中学生の部活帰りや高齢者の足として利用できるよう協議を進めている。

活動 の様子 地区社協 勉強会 防災訓練 各地区 茶の間開催

次年度へ向け

- ・「地域の茶の間いっぷく」での送迎支援本格実施へ向けてガイドラインの作成
- ・見守り訪問やゴミ出し支援を必要とする人が利用しやすい地域づくり
- ・見守り対象者が増えたり、訪問者が交代になっても、取り組みが継続できるしくみづくり
- ・子どもに関する情報の共有や取り組み、また、子どもたちの放課後の居場所の検討
- ・災害時の要支援者の対応の検討 ・地域の福祉活動の情報共有

「参加者〕金津コミ協:青木会長、齊藤副会長、植木会計、萱森事務長

金津地区自治会町内会長会:今井会長、伊藤副会長、小川会計

金津地区社協:小林委員長、中川副委員長、小林委員、五十嵐委員、御子柴委員

金津地区民児協: 茨木会長、太田副会長、長谷川副会長、高橋民生委員、沼田民生委員、

小坂民生委員、長谷川民生委員、宮崎民生委員、楠原主任児童委員

秋葉区社協:横山、藤田、吉岡